

平成 30 年度香川大学入学式 学長告辞

本日、香川大学に入学された 1,327 名の皆さん、誠におめでとうございます。そして、数ある大学の中から香川大学を選んでくれたこと、大変うれしく思います。また、皆さんを今日まで支えて来られたご家族や関係者の皆様に心よりお祝いと感謝を申し上げます。ご来賓の皆様、列席の理事、副学長、学部長および教職員とともに、皆さんを心から歓迎します。

昨年暮れからの寒さは数年来経験したことがない厳しいものでした。しかし、厳しい試練はそのあとに必ず良いことが訪れるものです。寒さが厳しければ厳しいほど一斉に桜のつぼみに休眠打破が起こり、開花に向けた目覚めが起こるそうです。今年は例年以上に見事なソメイヨシノの花の咲きぶりでした。あたかも皆さんの頑張りに応えて、本日の入学式に先駆けて桜の木々が祝福していたようでした。

さて、本日の晴れの日を迎えられた新入生の皆さんは、今回の入学式の会場に 1 時間ほど前に入り、在学生の先輩達から学歌の説明や、歌の練習などをされたと聞いています。Ice-braking で他学部に入學した同じ香川大学の仲間同士が自己紹介をされた事と思いますが、親しくなれたのでしょうか？入学式を在学生がプロデュースするこのような形式は今年から始めたものです。なぜ、入学式のスタイルを変えたのか？理由はこ

の平成 30 年 4 月が香川大学の改革元年だからです。具体的な説明を少し
しましょう。本年度から工学部は創造工学部へと生まれ変わりました。
創造工学部では人間中心のイノベーションの生み出し方をとことん学ん
でいただきます。経済学部も 3 学科制を 1 学科制にまとめ、その下に 5
コースを用意し、より現代社会の抱える諸課題を肌で実感できるように
学んでいただきます。医学部には、臨床心理学科が医学部では全国で初
めて設置されました。心の悩みやストレスを抱える人々が増加していま
す。臨床心理の勉強と医学の基礎知識の勉強を同時にしていただき、つ
らい思いをしている人々に寄り添うことのできる心理的援助者を目指し
ていただきます。

ここにいる全学部の新入生の皆さんにも、創造工学部の教育の柱とな
るデザイン思考とリスクマネジメント教育、それに加えて IoT 時代に必
須となっている情報科学に関する基礎的教育を、全学共通教育で学んで
いただきます。改革は教育のカリキュラムだけではありません。アメニ
ティや学生サービスに関しても改革をしました。皆さんが座っておられ
るこの講堂から北側にかけて、道を挟んで学生食堂や図書館のある建物
までは student zone として学生生活に関する様々な機能が集約されるよ
うに再設計しました。この会場と同じように、あらゆる学部の学生達と
様々な国から勉強しに来ている留学生達がここ student zone で混じり合
い、友達を大いに増やしてください。混じり合うこと、様々なバックボ

ーンを持った人たちが力を合わせる事が総合大学である香川大学で学ぶ最大のメリットであります。

皆さんは、香川大学に入るまで自分でアルバイトをして学費を稼いだ方もいるかもしれませんが、多くの方はご両親や周りの方々の資金的な援助に支えられ今日を迎えられていると思います。財産とか資産は、このように進学にも必要ですし、大学を卒業すれば自立して生活するためにも必要不可欠です。これらはいわば形のあるもの、有形資産と呼ばれるものです。一方、形のない資産、いわゆる無形資産も我々が幸せで充実した人生を送って行くためにはなくてはならない必要不可欠なものであります。大学では様々な学びを通して、知識やスキルといった無形資産を身につけていただきますが、無形資産にはさらにもう一つ重要なものがあります。人的ネットワークと言って、交友の輪、人と人とのつながりです。学内の同級生や先輩だけでなく、香川大学ではフィールドワークやインターンシップなど、様々な活動を通して積極的に学外に出て、実社会で活躍されている地域の人々と交流していただきます。これらの経験の1つひとつが皆さんの無形資産を増やすことになります。

香川大学の学章、シンボルマークはグローバルな研究を地球規模で展開する、という大学の決意が込められています。香川県に所在する地方の大学なのに、えらく大風呂敷を広げているな、と感じられたかもしれません。しかし、それは違うのです。地球が抱える様々な問題を解決す

る糸口は、すべて地方にこそ、その解決の糸口があるからです。1つ例を挙げてみましょう。香川県は広島県などとならんで牡蠣の養殖が有名です。牡蠣は豊かな森のある河口にしか育ちません。当然、河口の水もきれいでないといけません。残念ながら牡蠣の生産量は近年激減しています。大きさもずいぶん小ぶりになって来たようです。地球の温暖化や水質汚染の影響を瀬戸内海も強く受けています。香川大学では水質の改善、生物生産環境の研究などを行い多くの成果を挙げてきました。これらの研究成果は瀬戸内海だけにとどまるものではなく、当然、地球全体の海洋汚染の改善にもつながることは容易に理解できると思います。むしろ、課題に直面した地域の人々の苦しみを目の当たりにする機会の多い、地方の大学こそが地球を救うことにつながる研究テーマをより多く与えられていると思います。地域の人々の苦しみを、課題を目にし、耳にして初めて学問をする意義が身をもって理解できるのではないのでしょうか。

ロボットや人工知能 AI が人間のこれまでの労働をかなりの部分、肩代わりする時代が目の前に来ています。これからの時代の人間の役割は、一言で表せば価値の創造です。イノベーションを生み出してこそ人間の価値と言えます。香川大学は皆さんをお迎えして、イノベーション人材の育成にさらに大きな力を注ぎます。新しい価値を生み出すには、2つのポイントがあると思っています。1つは、他の人が本当に困っていることは何かをキャッチする柔らかい、優しい心。もう一つは思いついたアイ

デアを躊躇せず口に出して表現する勇気です。「優しい心」はすでに皆さん十分備えていると思います。あとは「躊躇しない」で一步踏み出す、これです。大学での学びは待っては何も得られません。

新入生の諸君、皆さんの持っている五感を駆使し、好奇心のアンテナを張り巡らし、様々な学びを通して無形資産を大いに増やしてください。期待しています。

平成 30 年 4 月 3 日

香川大学長 笥 善行